

SRD-7の接続法

図からおわかりになると思いますが、これまでアンプから直接スピーカーにつないでいたところを、アンプからSRD-7に行き、SRD-7からスピーカーに結ぶことになるわけです。但し、スピーカーを鳴らす場合、切換スイッチにより、アンプの出力は直接スピーカーに入るのですが、音質にはまったく影響ありません。つなぎ方の順序はつぎのようにしてください。

① 本機の背面からコードが2組出ています。左側の電源プラグのついたコードが電源コード、右側の灰色コード(先端色別)はシグナルコードです。(白=左+/緑=左-, 赤=右+/黒=右-)

② まずシグナルコードの白/緑、赤/黒を図のとおりアンプのSP端子につなぎます。図はトランジスタ式アンプの場合を示しておりますが、管球式アンプでしたら、SP端子の8Ωを+, 0Ωを-とお考え頂ければよいのです。

③ つぎにスピーカーを図のようにつなぎます。そのとき、コードの芯線はよく束ねておき、線がはぐれてターミナルの端子以外の金属部分に触れぬよう注意してください。(スピーカーを設置してない方は、ターミナル端子は遊ばせておきます。)

④ 電源コードのプラグを電灯線コンセントに差込みます。

⑤ SRD-7前面の6極コンセントに、イヤ・スピーカーのプラグをガイド線を上にして差しこみます(図-2)これで接続関係は完了です。あとは前面のスイッチでイヤ・スピーカーとスピーカーを切換えてお聞きになれます。

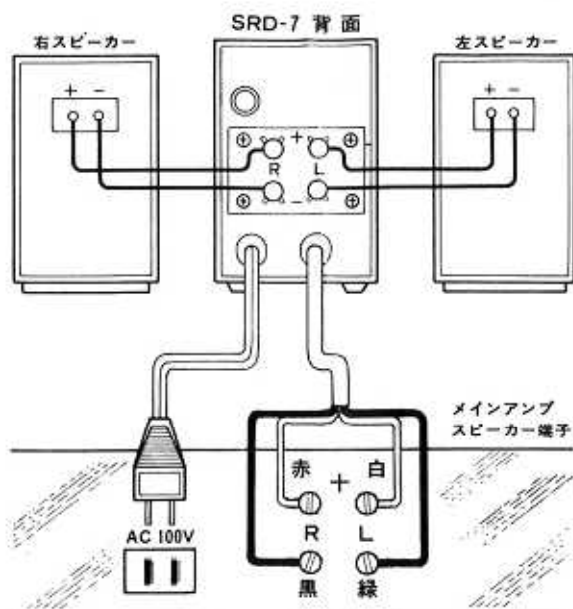


図-1



図-2

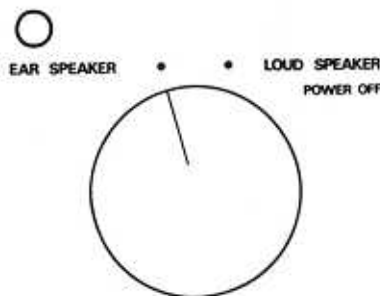


図-3

スイッチの切り換え

① スイッチをイヤ・スピーカー Ear Speaker にすると、アダプターの電源が入りパイロット・ランプが点灯します。図-3

② スイッチを切換えるときは、アンプのボリュームを充分小さく絞ってください。

③ スイッチをラウド・スピーカー Loud Speaker にすると、電源が切れパイロット・ランプは消えます。